

一色馬三郎重之公没 四百年祭のご開催に際し謹んでご挨拶申し上げます。

また、資料の収集・研究ならびに開催準備にご尽力いただきました関係各位に、深く敬意を表する次第です。

重之公の御遺徳を偲び、ここに、一色家御一同様が御霊前に参じて追慕されることは、自分と向き合い、生き方を見つめ直し、一色家に脈々と受け継がれている不撓不屈の精神と敬天愛人の心とを、次世代へ伝える良い機会となれることと確信する次第です。

結びに、本日ご参集の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、一色家のなお一層のご繁栄をお祈り致します。

平成二十七年五月二十四日

衆議院議員

白石徹

一色右馬三郎重之公没四百年祭が多くの方々のご参加のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

重之公の代官職を初めとして、代々代官として、また庄屋として地域を治め、明治さらに戦後においても多くのすぐれた逸材を輩出されております。脈々と積み重ねられたその優れたご功績に改めて心からの敬意を表します。

一族郷党が相集い、菩提をとむらい、その功績をたたえることは誠に意義あることと存じます

本日の四百年祭のご盛会を祈念いたしますと共に、ご参会の皆様
の今後益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたします。

平成二十七年五月吉日

参議院議員

山本順三

一色右馬三郎重之公没 四百年祭のご開催に際し、準備等にご尽力頂きました関係者の皆様方に敬意を表する次第であります。

本日は、三蔵院宝積寺の墓地跡地石碑を訪れ、旭新開墓地への参拝をされるということ、歴史ある一色家の始祖であります一色右馬重之公を改めて偲び敬う機会となり、また更なる歴史継承に繋がっていくものとご期待致しております。

一色家の更なる隆盛とご参会の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

参議院議員

井原 巧



一色右馬三郎重之公没 四百年祭が関係各位のご努力により、当西条市において開催されますことに対し、心より敬意を表する次第であります。

本日の四百年祭を通して、歴史ある一色家の始祖であります一色右馬重之公に目を向けることは、一色家すべての出発点となり、改めて先人の残したものを誇りに思うのは、住む所は異なっても、一族の皆様方に共通した人間の属性であり、最も崇高なものであり、これからも、子々孫々に伝えていかれますことをご期待申し上げます。

一色家の更なるご発展とご参会の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

愛媛県議会議員

渡部 浩



一色右馬三郎重之公没 400 年祭 お慶びのことば

本日は、誠におめでとうございます。

豫州三津屋重之流一色氏始祖一色右馬三郎重之公 400 年祭にあたりまして、一言お慶びのことばを贈らせて頂きます。

奇(く)しくも、今年は、徳川家康公没後 400 年にあたり、私の奉仕いたしております西條神社におきましても、大切な年と考えております。

徳川家康公が愛読された、『貞観政要(じょうがんせいよう)』の中では、歴史の大切さを、「古(いにしえ)をもって鏡となせば、もって興替(こうたい・興亡のこと)を知るべし」と表現しており、歴史の中の、先人の生き方を学ぶことで、今を生きる私たちの在り方を考えることが大切であると説いております。

一色家の皆様におかれましては、400 年に亘り連綿と、系譜を整えられ、ご先祖一色右馬三郎公を祭祀されておられます。これこそが歴史を大切にされることであり、歴史に学び、自らの生き方に規(のり)を課し、自らを律することでもあります。

長き年月の間には、様々なご苦難の時もあったと思われませんが、それを見事に乗り切られ、400 年後の今を生きられておられますことは、ご先祖様の御蔭であり、また、このように祭祀を続けられた、その賜物であると敬服いたします。

今後とも、どうかご先祖様に対する畏敬の念を大切にされますことをお願い申し上げます。

最後になりましたが、一色家皆々様の、今後ますますの、ご健康とご長寿、更なる弥栄(いやさか)を心よりご祈念申し上げ、お慶びのことばとさせていただきます。

平成 27 年 5 月 24 日

愛媛県議会議員

高木 宗 洋

豫州三津屋重之流一色氏始祖

一色右馬三郎重之公没 四百年祭 御祝

豫州三津屋重之流一色氏始祖「一色右馬三郎重之公没 四百年祭」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

また、皆様方におかれましては、平素より市政各般にわたり、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

先祖を尊び敬うことは日本人の家族を大切にする心の原点であり、大変意義深いことと感じております。

本日の重之公没後四百年祭を契機に一色家御一族の皆さまが過去の歴史を振り返り互いに親交を深められますとともに、より強い絆を新たに結ばれますことを願っています。

結びに、一色家御一族の益々のご隆盛を念願いたしますとともに、ご参会の皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

平成27年5月24日

西条市長 青野 勝

〒1-0502 西条市丹原町願連寺206-1
一色昇二様 サンハイツ丹原106号
(株)アイ・ティック村

〒99-2469
松山市光洋台ク-34
二神系譜研究会
代表 二神俊一
TEL (089) 994-2542

月 日 午前 午後 なし



① ② ③ ④ ⑤
普 慶 弔

一色昇二様

三津屋一色氏の始祖、右馬三郎
重之公は四百年祭をお迎いの由
域におめでとうございます

少子化が深まる今日、同族系譜
が未永く発展することはご一族、
関係者のみならず、私共二神系
譜にとりましても域に喜ばしい
限りでございます

三津屋一色系譜のこれまでの功
績に深く敬意を表するとともに
本日の四百年祭を心よりお祝
い申し上げます。

平成27年05月24日

二神系譜研究会
代表・二神俊一

E11363466-0001 (1/1)

松山の二神系譜研究会から、メッセージをいただいております。重之公の孫娘に松山市北条の風早というところから二神善右衛門さんが婿養子にきている為です。

木屋・福島屋・大和屋・小松の一色家がその末裔になります。尚、善右衛門さんは、後に二神姓に戻した為、三津屋地区を中心に二神家があるということです。

豫州三津屋重之流一色氏始祖

一色右馬三郎重之公没四百年祭 御祝い

新録の香り立つ季節の中、豫州三津屋一色氏始祖、一色右馬三郎重之公没四百年祭を盛大に開催されますことを松山一色氏同族として心からお慶びを申し上げます。戦国末期という時代の変換期に丹後国から河野氏との縁により東予地区に移って来た右馬三郎重之公。同じく河野家に招かれ三河国知多半島から現在の松山市青院に来た一色範直公。これらの歴史的事実は諸先輩方の研究により少しずつですが明らかになってきています。

そして、御祖を訪ねるといふことは現代のロマンであると思います。遠い歴史の彼方から脈々と受け継がれ、現在の私達はいるので、そんな感動に胸が熱くなります。重之公のように四百年を過ぎてもこのような催しを続けられているのは素晴らしいことだと思います。

今後、西条地区一色氏一族の益々の御繁栄をご祈願すると共に、ご参会の皆様のみならず、ご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。

平成二十七年五月二四日

松山一色同族会

一色範直末裔 雲井美智子

全国一色同族会は平成8年に解散しておりますが、活発に活動していた頃に交流のあった松山一色同族会のお一人からメッセージをいただきました。